

一挙公開

棟方志功

Shiko Munakata: All at once



女人観音 1949年
全12冊【2冊】のうち
【9】振向処の欄
詩・岡本かの子 日本民藝館蔵

開館時間:午前9時30分~午後5時

休館日:月曜日〔祝日は開館〕

—12月28日〔月〕—1月4日〔月〕

主催:豊田市民芸館/共催:中日新聞社

出品協力:日本民藝館

観覧料:一般1,000円/高校・大学生800円/
中学生以下無料

※I期の半券をお持ちの方はII期の観覧料を200円
割引します。〔各種割引との併用不可〕

※観覧料の減免、割引等については
当館ウェブサイトをご確認ください。

豊田市民芸館

I期:2026年9月26日〔土〕—11月23日〔月・祝〕

言葉のちから/敬愛のしるし

II期:2026年11月28日〔土〕—2027年1月31日〔月〕

板のいのち/神仏のかたち

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

一挙公開

棟方志功

Shiko Munakata: All at once

日本民藝館には、棟方志功が柳宗悦に出会った1936年[昭和11]から、柳が亡くなる1961年[昭和36]までの25年間に制作された作品のほぼすべてが収蔵されています。棟方は作品が摺り上がると、その初摺りと合わせて2枚の作品を必ず柳のもとへ届けていました。日本民藝館が所蔵する棟方作品は、初摺りが持つ力強さに加え、柳の装案によって屏風や軸として仕立てられることで、ふたりの表現が重なり生まれる深みが大きな特徴です。棟方は、「先生の御眼があってこそ、板画は生まれる」、「先生の装案で作品は完成する」と述べ、作品の生成から仕上がりまで柳に沿いきる姿勢を示しています。一方、柳もまた「棟方の板画は天から授かったものだ」と記し、棟方の作品を“作家の技巧”ではなく、天啓として受け止め、自身の民藝思想や宗教観と重ね合わせ評価しました。棟方はこの言葉を生涯忘れず、制作の根本姿勢としたといわれています。

本展では、東京の日本民藝館で開催された「所蔵作品一挙公開 棟方志功」を再構成し、「言葉のちから」「敬愛のしるし」「板のいのち」「神仏のかたち」の4つのテーマに分類して紹介します。展示は2期に分け、その所蔵作品の全容に迫ります。

関連イベント

記念講演会「棟方志功の板業」

日時:10月3日[土]午後2時~3時30分

講師:石井頼子[棟方志功初孫、棟方志功研究家、南砺市福光美術館特別専門員]

会場:豊田市民芸館[第3民芸館]

聴講:無料[ただし、会期中の観覧券の提示必要]

定員:先着50名程度[事前申込不要]

記念講演会「柳宗悦と棟方志功」

日時:12月12日[土]午後2時~3時30分

講師:山澤千春[日本民藝館学芸員]

会場:豊田市民芸館[第3民芸館]

聴講:無料[ただし、会期中の観覧券の提示必要]

定員:先着50名程度[事前申込不要]

詳細は当館ウェブサイトをご確認ください

ギャラリートーク「学芸員による展示解説」

日時:10月17日[土]、11月21日[土]、12月19日[土]、

1月16日[土]いずれも午後2時から[40分程度]

会場:第1民芸館集合

聴講:無料[ただし、当日の観覧券の提示必要]



1



2



3



4



5



6



1
流離抄板画軸 1953年
6幅のうち「狐狼の橋」
歌・吉井勇 表装案・柳宗悦

2
再遊の橋「誕生の橋」1962年
[1967年摺] 1幅

3
心侶頌 1957年 全77幅
[6曲4集][部分]
詞・表装案・柳宗悦

4
柳緑花紅頌 1955年 全12幅
[6曲1双]のうち「草蓮の橋」
表装案・柳宗悦

5
いろは板画軸 1952年 全48幅
[6曲1双][右隻]
表装案・柳宗悦

6
追問心経の橋 1957年 全16幅
[4曲1双]のうち「意馳の橋」

7
二菩薩歌謡十大弟子 1939年
全12幅[12幅]のうち「富楼那」
表装案[原装]・柳宗悦

掲載作品は全て日本民藝館蔵

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

豊田市民芸館
Toyota City
Folk Craft
Museum

同時期開催の展覧会

豊田市博物館

「戦国を生きた 細川家と永青文庫の名宝」

10月10日[土]~12月6日[日]

豊田市美術館

「没後20年 井田昭一展」

「長谷川 繁 ペイン天狗」

10月24日[土]~2027年1月24日[日]

豊田市本多記念民芸の森

森の本多コレクション展

「100年前 本多静雄が見た勘八峡」

9月19日[土]~2027年1月24日[日]

問合せ先

豊田市民芸館

〒470-0331

愛知県豊田市平戸橋町波岩 86-100

Tel.0565-45-4039 Fax.0565-46-2588

Email: mingeikan@city.toyota.aichi.jp

URL: https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/

